

## 第1回 愛媛県人口問題総合戦略推進会議 開催結果（概要）

平成 27 年 4 月 27 日(月)13:30～15:15

議事堂 農林水産・建設委員会室

### あいさつ（知事）

- ・本県は、昭和 60 年をピークに人口は減少を続けており、人口減少対策は待ったなしの状況。
- ・県は国の対策を待つまでもなく、結婚支援など少子化対策や企業誘致による雇用の創出、営業活動による実需の創出など、積極的に取り組んできており、この取組みを一層加速して、独自性・実効性のある対策を進めていかなければならないと考えている。
- ・今後、「人口ビジョン」や「総合戦略」を策定するが、人口問題は行政だけで対応できるものではなく、「オール愛媛」で立ち向かわなければならない、答えのない難しい問題。
- ・今回、各分野から現場目線での具体的な意見や提言を頂くとともに、県と各機関・団体が連携・協働し具体的な対策を推進するため当会議を立ち上げた。この会議を核とし、人口減少問題に一丸となって取り組みたいと考えており、有効な提案については速やかに施策に反映させていきたい。

### 各団体からの意見・提言等

- ・農村における就業機会の減少により兼業農家が大幅に減少。企業誘致などにより就業機会が増えることに期待（JA 愛媛中央会）
- ・漁業就業者数は、毎年約 6 % ずつ減少し高齢化も進行。青年漁業者を対象とした婚活イベントを 25 年度から実施（県漁連）
- ・愛媛県では雇用の 86% が中小企業であり、中小企業の強化が重要。また、今後、労働力の絶対数が不足（商工会議所連合会）
- ・円安が外国人観光客を増やしており、その誘致に向けた取組を進めてほしい（市長会）
- ・よく都市部から「都会対郡部」と言われる。愛媛県は郡を廃止してはどうか（町村会）
- ・父親の育児参加を企業や行政はもっと応援してほしい（保育協議会）
- ・幼児教育の経費負担を県下市町で統一してほしい。子育て世代に費用が掛からないようにすれば出生率も上がるのでは（幼稚園連合会）
- ・子どもに愛媛の良さを分かってもらうため、教育の中で各団体と連携し、農林漁業体験をさせてはどうか（PTA 連合会）
- ・元気な高齢者による介護のファミリーサポートを行うなど、元気な高齢者世代が活躍できる場が必要（女性財団）

### まとめ（知事）

- ・一次産業従事者の減少や高齢化の深刻さ、中小企業の雇用力をどう担保するか、南予地域の深刻な現状が浮き彫りになったと思う。
- ・具体的な提案もいただき、男性の育児参加による女性の労働環境の向上 県外の学生の県内就職を充実させること 交流人口の拡大など、色々なアイデアが生まれる予感がした。
- ・離職率対策も大事な視点。また、シングルマザーにどう更なる就労のチャンスを提供するかも一つの施策だと感じた。
- ・初婚年齢が年々上がってきているというデータがあったが、スウェーデンでは初婚年齢を 5 歳若くする政策的取組を行った結果、出生率が 1.2 から 1.8 まで上がった。こういった所の対策をどうするかも具体的な政策展開として必要な気がする。